

総合的な学習の時間学習指導案

安芸太田町立筒賀中学校 川上 博子 (T1)
橋本 勉 (T2)

- 1 日 時 平成23年11月28日(月) 2校時(9:50~10:40)
- 2 学年・学級 第1学年 6名(男子5名, 女子1名)
- 3 場 所 1年教室
- 4 指導形態 ティーム・ティーチング
- 5 単元名 ふるさと筒賀の再発見
- 6 年間指導計画における本単元の位置付け

ふるさと筒賀の再発見
(32時間)

未来の自分像を考えよう
(18時間)

7 単元について

(1) 単元観

本単元は、地域の自然環境や伝統文化の特徴とそこに携わる人々の思いや願いを学ぶことを通して、探究の過程や課題に応じた解決方法を協同的に身に付けさせ、地域と自分自身とのかかわりについて考えようとする資質・能力及び態度を育てることを目標として設定したものである。

本単元は、地域の自然環境や伝統文化を素材とした学習である。生徒たちにとって、小さいころから親しんできた地域を対象とした学習であり、興味・関心をもって、意欲的に探究活動に取り組むことが期待される題材である。また、「身近にありながら気付いていなかった地域の良さ」「当たり前だと思っていた地域の特色がもつ価値」など、地域の魅力を生徒自身が再発見し、地域への愛着を育むことにつながると思われる。地域に住み、地域の将来を担う生徒たちにとって、大変意義のある学習であるといえる。

学習活動は、小学校の時に総合的な学習の時間で学んだことをきっかけとして内容が発展するように学習を進め、地域に出向く体験的な活動を有効に取り入れながら、基礎的な探究活動のプロセスを身に付けさせていく。そして、中間発表の場を設定し、生徒が自らの考えを振り返ったり、課題を更新したりして、探究の過程が繰り返されるよう計画する。また、単元の終末には、単元の学習を通して見出した新たな課題が次の単元や来年度の学習へつながるようにする。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、少人数ながらまじめで明るく、授業や部活動に一生懸命取り組むことができる。

小学校時の総合的な学習の時間においては、地元の有名な景勝地「龍頭峡」について調べて、観光客を相手に観光ガイドを務めたり、一人一人が地域の中の調べたい「ひと・こと・もの」を設定して探究し、その成果をプレゼンテーションするなど、地域を題材とした学習をおこなってきている。

しかし、単元の導入で、小6時のプレゼンテーションを改めておこなわせてみたところ、調べようと思った理由が明確でなかったり、調べたことに対する考察が不十分であったりする様子が見られる等、課題解決の進め方、学び方を必ずしも十分に身に付けているとはいえないことが分かった。

また、6月に実施した総合的な学習の時間等に関する意識調査では、次のような結果が得られた。

質 問 項 目	肯定(人)	否定(人)
・「総合的な学習の時間」の授業を楽しみにしています。	5	1
・今、住んでいる地域の歴史や自然について関心があります。	5	1
・計画、調査、まとめなどの活動をする時に、自分にできることを考え、行動に移すことができます。	5	1
・努力すれば、自分もたいいのことはできると思います。	5	1
・自分には、よいところがあります。	6	0

・各教科や総合的な学習の時間で調べたいことを見付けることができます。	3	3
・異なる意見や他者の考えを受け入れることができます。	3	3
・自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。	3	3

これらの結果から、生徒は、総合的な学習の時間の学習に興味・関心が高く、計画、調査、まとめなど、主体的に活動しようする意識がうかがえる。また、全員が「自分には、よいところがある」と答えており、自己肯定感も高い。

一方、自ら課題を見付け、見通しをもって学習を進めることや他者と円滑にコミュニケーションを図りながら、協同的に取り組むことについては、やや課題があることが分かった。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、これまでの各教科等で得た知識や技能、生徒がもっている情報等を有効に活用させながら、探究活動を進めることができるよう指導や支援をしていく。そして、探究したことを新聞の形式にまとめ、役場や公民館などに置いてもらうようというゴールを設定し、意欲と目的意識をもって活動できるようにする。学習が長期間にわたるので、活動自体が目的にならないように、適宜探究活動のプロセスを生徒に意識させたい。

本学級の生徒は、活動を進めるときに見通しをもつことが苦手な面が見られる。節目ごとに活動を振り返り、見直しをしながら、見通しをもってものごとを考える力を育てていきたい。そのため、「なぜ」「どのように」「何のために」などの問いを教師が繰り返し行い、生徒にじっくり思考させるよう指導を工夫する。

また、一人一人の課題意識を大切にしつつ、グループで協同的に探究する場面を設定する。発表時には、相互評価をおこない、お互いに認め合ったり、改善の方向について指摘し合ったりさせる。

このような工夫をすることで、主体的に学習活動に取り組み、他者と協同して「分かった」「できた」などの学ぶよるこびや成就感を味わわせ、学習したことが次の学習につながるよう指導していきたい。

8 単元の概要

(1) 単元の目標

地域の自然や文化とそこにかかわる人々とのかかわりを探究する学習を通して、地域の魅力や地域の人々の思いや願いを学び、探究の過程や課題設定に応じた解決方法を協同的に身に付け、地域への愛着を高め、自己の生き方を考えることができるようにする。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 集めた情報から、ねらいに沿った情報を取り出す。
- イ 相手や目的に応じて、自分の考えを表現する。

【自分自身に関すること】

- ウ 課題の解決に向けて意欲的に行動する。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- エ 異なる意見や考えを聞き、それを尊重する。
- オ 地域の良いところを知り、地域に対する自信や誇りをもつ。

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域の自然環境や伝統文化の特徴
- イ 地域の自然環境や伝統文化にかかわる人々の思いや願い
- ウ 地域の魅力を再発見し、紹介する取組み

9 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
単元の評価規準	①課題の解決に向けて集めた情報から、必要な情報を取り出している。 【(2) -ア, (3) -ア・イ】 ②地域の魅力や、体感したことを、聞く人にわかりやすく伝えている。 【(2) -イ, (3) -ウ】	①課題の解決に向けて、意欲的に行動しようとしている。 【(2) -ウ, (3) -ウ】 ②地域の良い点を課題設定の時より多く考えている。 【(2) -ウ, (3) -ア・イ】	①自分の考えを伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりしている。 【(2) -エ, (3) -ウ】 ②地域の良い点について、積極的に他者に伝えようとしている。 【(2) -オ, (3) -ウ】

10 指導と評価の計画 (全32時間)

小単元(時数)	主な学習時間	評価規準及び主な評価方法	
地域をより知るための(8時間) 課題を設定しよう。	○ガイダンスを行い、総合的な学習の時間の「ねらい」や「身に付けたい能力」等を知り、学習の見通しをもつ。 課題の設定 ○課題を設定する。 ・小学校6年時の地域学習を振り返り、当時制作したプレゼンテーションの発表をする。 ・地域のよい点と問題点について自分たちの考えをまとめる。 ・地域の自然環境や文化などの保全や活性化に取り組む方から話を聞き、思いや願いを知る。 ・地域の方と自分たちの、地域への思いの相違をはっきりさせ、地域の魅力を再発見するためのグループ課題を設定する。 ・グループで調査活動の計画を立てる。	自①	観察による評価 ・行動観察〈発言〉
情報を集めよう。(6時間)	情報の収集 ○調査活動を行う。 ・各グループの課題解決に向けて、資料調べ、現地調査、インタビューなどに取り組む。	学①	制作物による評価 ・ワークシート
伝えたいことを整理しよう。(9時間)	整理・分析 ○調査結果をまとめ、中間発表をする。 ・集めた情報の整理・分析をする。 ・地域の魅力を伝えることができるよう表現の工夫をする。 ・下書きをもとに中間発表をする。	他①	観察・制作物による評価 ・行動観察〈発言〉 ・ワークシート
地域紹介の新聞を作り、発表しよう。(9時間)	まとめ・表現 ○内容を見直し、最終発表をする。 ・中間発表を振り返り、改善策を考える。 【本時】 ・新たに情報を集めたり、整理・分析したり、表現の工夫をしたりする。 ・最終発表をする。 課題の設定 ○振り返り ・学習活動を振り返り、新たな課題を見つける。	学② 他② 学② 自②	観察による評価 ・行動観察〈発言〉 観察・制作物による評価 ・行動観察〈発言〉 ・生徒手作り新聞 自己評価 ・自己評価カード

1.1 本時の展開

(1) 本時の目標

- 中間発表で出た質問や意見に対して、各自で改善策を考える。
- 自分の考えを、聞く人に分かりやすく伝える。

(2) 観点別評価規準

- 中間発表で出た質問や意見に対して各自で改善策を考えている。
- 自分の考えを、聞く人に分かりやすく伝えている。

(3) 準備物

付箋・ワークシート

(4) 学習展開

	学習活動	◇指導上の留意点 (◆個別の指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導 入	1 本時のねらいと学習の流れを確認する	◇探究の過程のどこを学習しているか確認させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○中間発表で出た質問や意見を受けて、改善策を考えよう。 ○自分の考えを、聞く人に分かりやすく伝えよう。 </div> ○本時の活動の見通しをもつ		◇本時の学習の流れを確認させる。
展 開	2 改善策を考える。 ①各自が考えた改善策を付箋に記入する。 ②意見を交流させ、まとめる。 ③まとめた意見を発表する。	◇質問や意見に対する各自の考えを付箋に記入させる。 ◇目的意識や相手意識をもって、考えさせる。(T 1) ◆作業が進まない生徒には、考える視点を与える。(T 2) ◇付箋を使いながら、各自の考えをグループ内でしっかり説明させる。(T 1) ◇他者の意見をしっかり聞き、内容を理解させる。 ◇3人の意見をまとめ、質問や意見に対する改善策を整理させる。 ◆話し合いがうまく進まない場合は、お互いに相手の話をしっかり聞き、発言するようにアドバイスする。(T 2) ◇整理した意見を発表させる。	・中間発表で出た意見や質問に対して、各自で改善策を考えている。 【ワークシート】 ・自分の考えを、聞く人に分かりやすく伝えている。 【行動観察】
ま と め	3 本時のまとめをする。	◇本時を振り返り、自己評価させる。 ◇次時の予告をする。	